

令和5年産

# 大崎麦作情報 第2号

令和5年3月2日発行

宮城県大崎農業改良普及センター

TEL 0229-91-0726 FAX 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

## ～今後の管理のポイント～

- 生育ステージを確認し、追肥を行いましょう。
- 莖立期前の麦踏みを行いましょう。
- 明きよ・暗きよの再点検を行いましょう。

## 1 気象経過

- 11月は平年より高温・多照の傾向で推移しました。その後は12月第4半旬、1月第5～6半旬に低温となりました。
- 降雪は2月第2半旬に合計20cmを記録しましたが、12月第5～6半旬、1月第3～4半旬は合計0cmと、根雪期間は短くなりました。

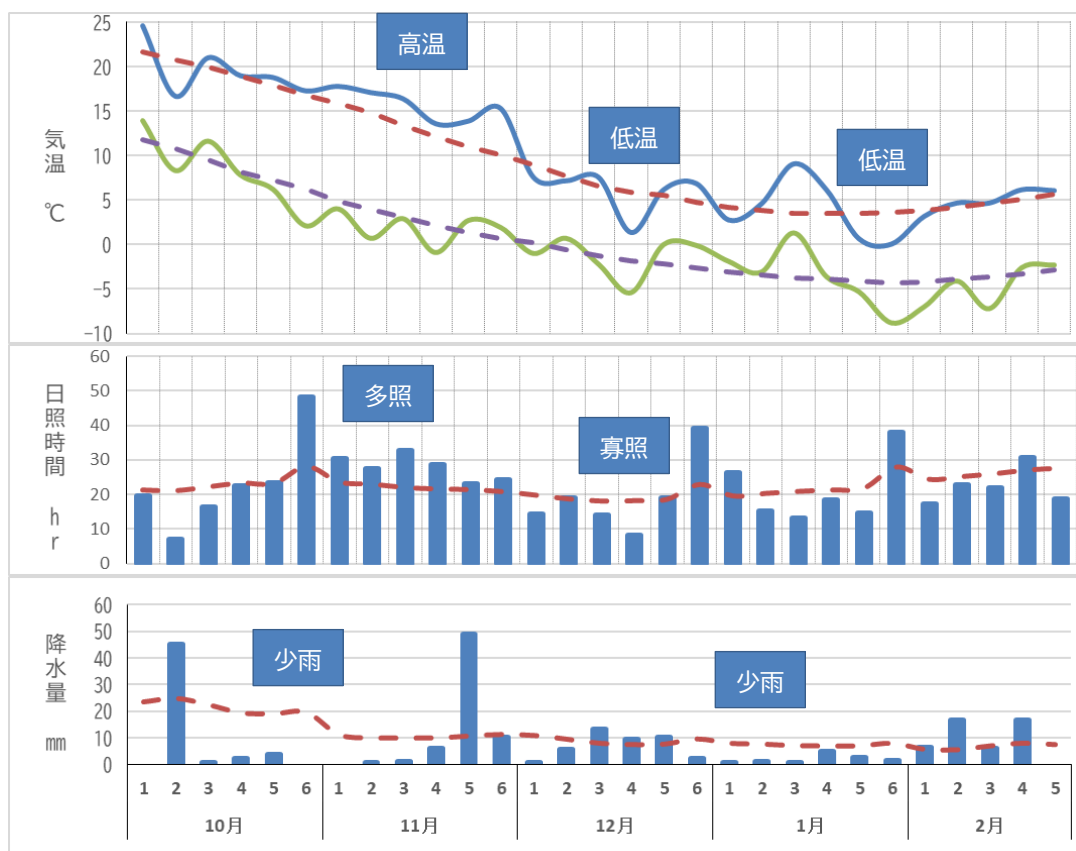


図1 10月から2月第5半旬までの気象経過（古川アメダス）

※1 実線又は棒グラフが本年値，点線は平年値

## 2 生育状況(2月10日現在)

### (1)小麦「シラネコムギ」

- 播種時期は降水が少なく、平年より2日早い10月23日の播種となりました。
- 12月15日調査では、草丈は平年より長く、茎数は少なくなりました。その後、気温が高かった影響もあり生育が促進され、2月10日調査の生育量は平年を上回りました。
- 2月10日調査では、野鳥による食害がやや見られました。

表1 「シラネコムギ」生育調査結果

地区名 品種名	調査日	播種日			草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			幼穂長 (mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	12/15				13.7	136%	115%	248	89%	69%	-	-	-
	2/10	10/23	-7	-2	12.8	130%	134%	653	139%	150%	0.07	-0.11	-0.13

※1 平年差(比)は、過去5か年(平成30年~令和4年産)の平均値との比較

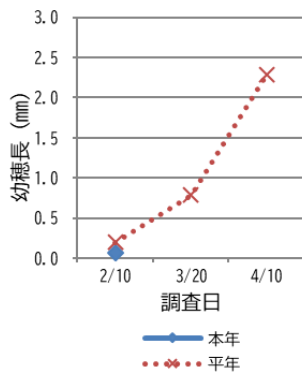


図2 幼穂長の推移

写真1 生育状況(2/10)

### (2)大麦「シュンライ」

- 12月15日調査では、播種ムラによる生育ムラがみられましたが、生育量は確保できており、茎数は年内の目標である400~500本/m<sup>2</sup>を上回りました。
- 2月10日調査では、野鳥による食害が多く見られました。

表2 「シュンライ」生育調査結果

地区名 品種名	調査日	播種日		草丈 (cm)		茎数 (本/m <sup>2</sup> )		幼穂長 (mm)	
		本年	平年差※	本年	平年比※	本年	平年比※	本年	平年差※
古川 シュンライ	12/15			8.3	105%	510	299%	-	-
	2/10	10/15	-9	6.4	78%	712	313%	0.82	0.50

※1 古川地区の「シュンライ」は令和5年産より調査を開始した。

※2 平年差(比)は、三本木地区の「シュンライ」(平成25~29年産)の平均値との比較であり、参考値として載せている。



写真2 幼穂



写真3 生育状況 (2/10)



写真4 麦を食べているハクチョウ

### 3 今後の管理

#### (1) 追肥

麦類の施肥は生育ステージに応じた必要量を分施するのが基本です。生育量や幼穂長を確認し、適期に追肥を行いましょう。

表3 「シラネコムギ」追肥時期と施肥量の目安

追肥の時期	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30～50mm)	穂揃期 (8～9割出穂)
目的	有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	子実タンパク質含有率 の向上
追肥時期	3月下旬～4月中旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
N成分量 (kg/10a)	2.5	2.5～5	2.5
硫安の場合 (kg/10a)	12	12～24	12
尿素の場合 (kg/10a)	5.4	5.4～11	5.4

表4 「シュンライ」追肥時期と施肥量の目安

追肥の時期	起生期 (越冬後、茎葉が再び生長を 始める時期)	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30～50mm)
目的	低温期に葉色低下した 場合の株直し	有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化
追肥時期	越冬後早期	3月中旬～3月下旬	4月中旬～4月下旬
N成分量 (kg/10a)	1(黄化少ない)～2(黄化目立つ)	2～2.5	2～2.5
硫安の場合 (kg/10a)	4.8～9.5	9.5～11.9	9.5～11.9
尿素の場合 (kg/10a)	2.2～4.3	4.3～5.4	4.3～5.4

#### 【幼穂長の測定方法】

- ① 生育中庸な株の長い茎を3本以上採取する。
- ② 茎の膨らんでいる部分を手で剥く、またはカッターで縦方向に切り裂く。  
※勢いよく剥くと幼穂がちぎれてしまうので慎重に！
- ③ 茎の中心部にある幼穂の長さを測定する。  
※芒は幼穂長に含めない！

## (2) 麦踏み

- 麦踏みは、**茎立ち（主稈長2cm、幼穂長2mm程度）前まで**に行いましょう。
- 越冬後の麦踏みは、生育のバラツキを解消する効果があり、生育が再開する起生期（平均気温4℃）以降の作業が有効です。
- **生育量が足りない場合やほ場が湿っている状態での麦踏みは逆効果**となりますので、麦の生育状況とほ場の状態に注意してください。

### 主な効果 ～メリットがたくさん！～

#### ・麦への効果

耐寒性・耐干性の強化、徒長や茎の早立ちの防止、分げつの増加、分げつ相互の生育調整、深根化、穂揃いの均一化、稈の強剛化

#### ・土壌への効果

霜柱・干害による被害の軽減、強風による土移動の軽減と防止

## (3) 排水対策

麦は湿害に弱い作物です。融雪や急な降雨等により湿害が発生する恐れがありますので、**明きよと暗きよの再確認**を行いましょう。

- ・明きよ…手直し、管理機等で溝を作りましょう。
- ・暗きよ…栓が閉じられていないか再確認しましょう。
- ・湿害の影響（出芽後期～分げつ期）  
…根の伸長抑制による浅根、分げつの減少、葉の黄化、生育遅延

### 東北地方 1 か月予報

（3月4日から4月3日までの天候見通し）

令和5年3月2日  
仙台管区气象台 発表※抜粋

#### <特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

#### <予想される向こう1か月の天候>

東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

#### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	20	70
【降水量】	東北太平洋側	30	40	30
【日照時間】	東北太平洋側	30	40	30

#### <気象経過の各階級の確率（%）>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	20	30	50

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆農作業安全確認運動（3月1日～6月30日）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆  
宮城県の農作業死亡事故の過半数はトラクターが原因となっています。安全フレーム・キャブ付きのトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメットの着用を徹底しましょう。

令和5年スローガン 「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

「大崎地域の稲作技術情報」, 「大崎地域の大豆作技術情報」, 「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

